

桶狭間の戦い

天下取りへの第一歩



一五六〇年、駿河の国（今の静岡県）の大名・今川義元が、二万五千人の大軍で、織田信長のいる尾張の国（今の愛知県）にせめこみしました。信長の軍はわずか三千人。だれもが信長は負けると思っていました。

出発の朝、信長は「人間五十年」という言葉で知られる「敦盛」（日本伝統のおどり）をまい、立ったまま湯づけ（お湯をかけたご飯）を食べて馬に飛び乗ったと伝えられています。そして熱田神宮で勝利をいのり、戦場へと向かいました。

そのころ義元の本じんは、桶狭間山で休けい中でした。（ ）、とつぜんはげしい雨がふり出したのです。信長はこの雨にまぎれててきに近づき、雨が上がると同時に、本じんめがけて一気にせめかかりました。思いがけないこうげきにあらわした今川軍は大こんらんにおちいり、大しよの義元は織田軍の武士にうち取られました。

この勝利を決めたのは、義元のいた場所をつかんだ「じよほうの力」だったとも言われています。十倍近いてきをやぶった信長の名は全国に知れわたり、天下取りへの第一歩となったのです。

せんたく(1)

ぶんしよように合うものはどれですか？

えらんで○をつけましょう。

- ① 信長は「敦盛」をまっしてから出発した
- ② 信長の軍は今川軍より多い
- ③ 信長は義元にうち取られた

せんたく(2)

ぶんしよの（ ）に入る言葉はどれですか？

えらんで○をつけましょう。

- ① しかし
- ② つまり
- ③ すると

きじゅつ(1)

今川義元の軍は、およそ何人だったでしょうか？

きじゅつ(2)

信長は何にまぎれててきに近づいたのでしょうか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) みずうみ

(2) みなと

(3) はたけ

いつくしま 厳島の戦い

神の島の大ぎやくてん



厳島は、安芸の国（今の広島県）にある、海の中に大きな鳥居が立つ神の島です。一五五五年、この島で毛利元就と陶晴賢が戦いました。晴賢は、つかえていた大名をたおして力をにぎった武将で、軍はおよそ二万人。対する元就の軍は、わずか四千人ほどでした。

元就は、ちえで戦います。まず厳島に宮尾城という小さな城を建てて、わざとてきをさそいます。せまい島では、大軍は思うように動けないからです。（ ）、晴賢は二万の軍で島にわたり、宮尾城をかこみました。

元就が動いたのは、あらしの夜でした。だれも海をわたれないと思った夜、味方の村上水軍（海の武士たち）が船を出し、元就の軍は島のうら側にたどり着いたのです。翌朝、山をこえ、陶軍のうしろから一気にせめかかりました。ふいをつかれた陶軍は大こんらとなり、晴賢はやぶれました。

この戦いは「日本三大きしゅう（ふいうち）」の一つです。勝利した元就は、やがて中国地方のほとんどもおさめる大名になります。そして、神の島を大切にし、厳島神社を守り続けました。

せんたく(1)

ぶんのように合うものはどれですか？

えら 選んで○をつけましょう。

① 元就の軍は陶軍より多かった

② 元就はあらしの夜に海をわたった

③ 晴賢は宮尾城で勝った

せんたく(2)

ぶんしよの（ ）に入る言葉はどれですか？

えら 選んで○をつけましょう。

① ねらいどおり

② ところが

③ たとえば

きじゅつ(1)

もとなり 元就を助けた水軍は、何といえますか？

きじゅつ(2)

もとなり 元就が厳島に建てた城は、何でしょうか？

かんじ 漢字

かんじ 漢字に直して書きましょう。

(1) あぶら

(2) しお

(3) さら

--	--	--

かわなかじま たたか 川中島の戦い

龍と虎の一騎打ち



甲斐の国（今の山梨県）の武田信玄と、越後の国（今の新潟県）の上杉謙信は、戦国最強とうたわれました。最強とうしの二人がぶつかったのが、信濃の国（今の長野県）の川中島です。その戦いは、なんと五回にもおよびました。

最もはげしかったのは、一五六一年の四回目の戦いです。武田軍は、軍を二手に分けててきをさはみうちにする「きつつき戦法」という作戦を立てました。（ ）、謙信はこれを見ぬき、深いきりの中、こっそり山を下りて武田軍の目の前にあらわれたのです。武田軍の作戦を考えた軍師・山本勘助は、せきにんを感じててきの中へとつげきし、うち死にしまいました。

この戦いには、馬に乗った謙信がただ一騎で武田軍の本じんにせめこみ、信玄が軍配（指図）に使ううちわ）でその刀を受け止めたという一騎打ちの伝説が残っています。その場所とされる八幡原には、今も二人のどうぞうが立っています。

四回目の戦いでは、両軍合わせて八千人以上がなくなつたとも言われます。それでも勝負はつかず、二人の対決は引き分けのまま、この戦いは歴史にぎざまれました。

せんたく(1)

ぶん 文しように合うものはどれですか？

えら 選んで○をつけましょう。

① 二人は一度だけ戦った

② 信玄が謙信をたおした

③ 謙信が本じんに切りこんだ

せんたく(2)

ぶん 文しよの（ ）に入る言葉はどれですか？

えら 選んで○をつけましょう。

① だから

② しかし

③ たとえば

きじゅつ(1)

でんせつ 伝説では、信玄は謙信の刀を何で受け止めたか？

きじゅつ(2)

はちまんぼら 八幡原には、今も何が立っていますか？

かんじ 漢字

かんじ 漢字に直して書きましょう。

(1) てつ

(2) こおり

(3) うめ

--	--	--

ながしの 長篠の戦い

さけび声が城を守った



一五七五年、武田信玄の子勝頼の大軍が、長篠城を取りかこみました。守るのは徳川家康の家来たち、わずか五百人ほどでした。

そこで鳥居強右衛門という武士が、夜の川を泳いで城をぬけ出します。家康のいる岡崎城まで、およそ六十キロ。走りぬいた強右衛門は、家康と織田信長から助けに行くとの約束をもらいます。帰り道、強右衛門は武田軍の兵につかまってしまいます。「助けは来ないと言え」と言われ、強右衛門はうなずきました。（ ）、城の前に立たされると、「助けはすぐ来るぞ！」と仲間のためにさけんだのです。

強右衛門は命を落としましたが、その声に長篠城の兵たちはふるい立ち、城を守りぬきました。やがて到着した信長は、木の馬防柵（馬をふせぐための木のさく）をずらりと立て、その後ろに三千丁ともいわれる鉄砲をならべます。

鉄砲は、一発うつと次のたまをこめるまで時間がかかります。そこで信長は兵を交代させ、たえまなくうち続けさせました。柵に止められた騎馬隊は、鳴りやまない音とけむりの中で次々にたおれます。信玄をさえた武將たちも命を落とし、最強の武田軍は半日でくずれ去りました。

せんたく(1)

ぶんのように合うものはどれですか？

えらんで○をつけましょう。

① 強右衛門は「助けは来ない」と伝えた

② 強右衛門の声で兵は元氣を取りもどした

③ 武田の騎馬隊は柵を打ちやぶった

せんたく(2)

ぶんしょうの（ ）に入る言葉はどれですか？

えらんで○をつけましょう。

① ところが

② だから

③ たとえば

きじゅつ(1)

ながしのじょうまも長篠城を守っていたのは、だれの家来ですか？

きじゅつ(2)

のぶながが鉄砲をうち続けるためにしたことは何ですか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) びょういん

(2) やきゅう

(3) しゃしん

桶狭間の戦いおけはざまたたか

せんたく (1) ① (2) ③

きじゅつ (1) ① 二万五千人 (2) はげしい雨あめ

かん字 (1) 湖みずうみ (2) 港みなと (3) 畑はたけ

厳島の戦いいつくしまたたか

せんたく (1) ② (2) ①

きじゅつ (1) ① 村上水軍 (2) 宮尾城みやおじょう

かん字 (1) 油あぶら (2) 塩しお (3) 皿さら

川中島の戦いかわなかじまたたたか

せんたく (1) ③ (2) ②

きじゅつ (1) ① 軍配ぐんばい (2) 二人のどうぞう

かん字 (1) 鉄てつ (2) 氷こおり (3) 梅うめ

長篠の戦いながしのたたか

せんたく (1) ② (2) ①

きじゅつ (1) ① 徳川家康 (2) ② 兵を交代させたへいこうたい

かん字 (1) 病院びょういん (2) 野球やきゅう (3) 写真しゃしん